

令和2年度 第3回学校運営協議会 記録

本年度第3回学校運営協議会は、令和3年2月8日に開催予定でしたが、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言の発出を踏まえ、郵送やメール等により意見等を聴取させていただくことでの開催としました。学校運営協議会委員の方々6名に資料を送付し、それらに対するご意見等を、「提言シート」にてご回答いただきました。

日時：令和3年2月19日（金）

出席者：学校運営協議会委員（6名：私立大学教授、障がい者就業・生活支援センター センター長、吹田市立中学校校長、私立保育園園長、本校 PTA 副会長、株式会社 総務部）、校長、事務局（7名）

1. 「令和2年度 学校経営計画、評価について」

※「令和2年度 学校経営計画、評価について」のポイント

- ・学校教育自己診断の結果と分析の内容について
- ・自己評価の内容について
→ほぼ全ての項目で評価基準を満たすことができた。ただし、キャリア教育については特に小学部において数値が伸びず次年度以降の課題となる。

※「令和2年度 学校経営計画、評価について」に対するご意見

- ・コロナ禍の中、前年度から複数項目で肯定回答率がアップしているのは学校長のリーダーシップのもと、教職員のみなさんの努力なくしては得ることのできない結果であると感じています。特に児童・生徒が「学校が楽しい」「先生は困ったときに話を聞いてくれる」の項目が高い回答率であることは、緊急事態時においても学校教育をストップさせることはできないことを如実にあらわしていると思います。（委員 A）
- ・就労率については、目標値がある以上達成することは大事だと認識しておりますし、先生や何より生徒さんの努力があって就職しているものと認識しております。その中で気をつけて頂きたい点としては、もうすでに意識されている点であるかと思いますが、就職率の達成を目標にするのではなく、働き続けられることを意識した環境（職場や生活面）作りを意識していただければ生徒さんにとってより良い結果に繋がるのではないかと思います。その他の項目でも良く頑張っておられるということがわかりました。（委員 B）
- ・年々評価がアップし保護者の満足度が上がっていることから、先生方の努力が認められていることと思います。校長先生のリーダーシップのもと継続して取り組んでほしいと思います。（委員 C）
- ・先生が児童生徒の頑張りを認めてくれることで児童生徒たちは自己肯定感を高めて授業に取り組むことができていると思います。・評価の3観点は児童生徒をいろんな面から評価でき、積み重ねの評価観点が12年間（小学、中学、高等部）の記録になる点がいいです。（委員 E）
- ・『ゆたかに』・・・コロナの影響で制約が多かったと感じます。先生のご尽力で実習など進められたと思

います。全般に、自己評価の○の項目が多く取り組み内容については、問題はなかったように思います。
(委員 F)

2. 「令和3年度 学校経営計画について」

※「令和3年度 学校経営計画について」のポイント

- ・ 中期的目標追加事項について
- ・ 具体的な取り組みの内容について
→ 令和3年度の取り組みの中でも、特に中学部50分授業、ICTを活用した授業、障がい特性やアレルギーに配慮した取り組みに重点を置く。

※「令和3年度 学校経営計画について」に対するご意見

- ・ ICTを活用した先進的な授業実践が新たな支援教育発展につながるものと思います。コロナ禍の中、マイナス（問題点）ばかりでなく新たな対応から生まれた工夫をさらに発展させていくことが重要であると感じています。新たな実践・実施について大いに期待しています。(委員 A)
- ・ 課題に対して積極的に取り組んでください。(委員 C)
- ・ 毎回ICTを使用したり工夫を凝らした教材を使用したりの授業の様子を拝見させていただいて、障がいの違いに合わせた介助をされており教職員の皆様の日々の努力が伝わります。(委員 D)
- ・ 中学部50分授業、ICTを効果的に活用した授業、キャリア発達段階の領域を意識した指導は自立や社会参加に今後重要な事だと思います。・ 欠席が続く児童生徒の支援はとても大切なことです。・ アレルギーなしの「みんなの給食」メニューは児童生徒が給食を楽しくおいしく安心して食べる良い食育だと思います。(委員 E)
- ・ 全般に細部にわたって取り組まなくてはいけないと感じています。アレルギーの事、健康観察などは、弊社でも就労継続を進める中で、大事にしている内容です。・ 個別の教育支援計画を充実させる内容については、関心があります。(委員 F)

※※「令和3年度 学校経営計画について」は、全ての委員の方々から了承をいただきました。※※

3. 「令和2年度 進路状況について」

※「令和2年度進路状況について」のポイント

- ・ 就労実績について
→ 飲食業と製造業への就職を希望する生徒は求人が大幅に減ったため、決定の遅れや他業種への変更を余儀なくされた。
- ・ 進路状況について

→福祉サービスを希望する生徒は、特に大きな問題もなく進路決定できた。全体としては、新型コロナウイルス感染症の影響で、決定までの遅れは生じつつも、全員が希望通りの進路先へ決定できる見込みである。

※「令和2年度 進路状況について」に対するご意見

- ・コロナ禍の中、高等部卒業生の進路指導には並々ならぬご苦勞があったと察します。今まで経験したことのない緊急事態への対応から新たに見えてきたものもあったかと思えます。新たな課題や工夫については、高等部の先生方だけでなく小学部・中学部・事務職員を含めたすべての教職員で情報共有できる体制がより大切になってくると思えます。(委員 A)
- ・卒業後の進路が決まり良かったです。本当にご苦勞様でした。(委員 C)
- ・コロナ禍の影響があったと思いますが、希望通りの進路先へ決定できたことはキャリア教育、自立支援の成果だと感じました。早期からキャリア教育・社会的自立支援の重要性を感じます。(委員 E)
- ・生徒さん含め先生方の大変なご尽力、ご努力があったと思えます。(委員 F)

4. 「令和2年度 学校教育自己診断について」

※「令和2年度 学校教育自己診断について」のポイント

- ・児童生徒の結果 ・保護者の結果 ・教職員の結果・いじめの分析について
- 概ね肯定的な評価を得ている。肯定的評価とは言えない設問に関しても、数値が伸びなかった背景が分析できるものであり、設問を工夫するなどして対応する。

※「令和2年度 学校教育自己診断について」に対するご意見

- ・肯定回答率からも児童・生徒、保護者の学校に対する満足度、信頼度の高さを感じております。課題のひとつにあがっている「いじめの分析について」の設問工夫等を図ることで、正確な状況把握につながり、より高い信頼関係が構築されるものと思えます。(委員 A)
- ・肯定的な意見が多く先生方の頑張りが垣間見えます。(委員 B)
- ・ほとんどの項目で高い評価を得られていることから学校運営が着実に行われていると感じました。「いじめに子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。」が低いことは解釈が難しいです。実際に事案に該当した保護者は肯定的にとらえていると思うし、いじめ事案を知らない保護者は回答ができないと思えます。否定的がないことは先生方が頑張っただけで対応していると思っただけではないのでしょうか。(委員 C)
- ・課題を含めしっかりと結果を分析されているようですのでよろしいと思えます(委員 D)
- ・児童・生徒が、学校生活が楽しいと肯定的評価が高いことが嬉しく思います。保護者の肯定的評価が最も高い、先生方からの連絡帳やお便りで子どもたちの様子、連絡事項を発信していただくことで保護者は安心して学校に通わせることができていると思えます。(委員 E)
- ・緊急事態宣言やコロナ感染拡大防止対策などへの取り組みなどがあり、体験したことがない日々だったと感じます。(委員 F)

5. その他

※学校運営全般及び学校運営協議会について

- ・校長、教頭のリーダーシップを強く肌で感じることでできる学校運営協議会でした。次年度以降のさらなる学校運営の活性化を期待しております。(委員 A)
- ・ご苦勞様でした。次年度も頑張ってください。(委員 C)
- ・毎回授業を見学させていただき、先生方の熱意を感じさせていただいています。映像を使用しての行事の様子を見ても生徒の方々が生き活きと学校生活を送っているのがわかりました。私の方が専門の知識もありませんので、お役に立っているのか心配ですが、あと1年よろしく願いいたします。(委員 D)
- ・学校運営協議会に参加させていただき皆様のご意見を聞かせていただきました。卒業後のことについて、キャリア教育、進路等、「まだ先のこと」と今まで思っていたが小学部からのキャリア教育の大切さを学ぶことができました。貴重な意見交換の場に参加させていただきありがとうございました。(委員 E)
- ・協議会開催内容(案件)が多岐に?わたっているように感じました。・参加にあたって、事前準備として、「今回は重点目標のシートに沿った内容の、これとこれを中心に討議します。予め考えておいてください。」等あればと思います。・限られた時間ですが、討議方法も先生方も参加していただきたく「ロの字」等の着席工夫等もありかと思えます。・先生方も取り組み計画、内容で困っていること(どう進めていいのか?)などの意見もあればと思いました。勝手に言って申し訳ございません。(委員 F)

以上